

美しい自然を次世代へ。「セブンの森」づくりとは？



セブンの森とは、日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に引き継ぐために、セブン・イレブン記念財団が行う産官学民が連携した地域一体型の森づくり活動です。

2006年から開始し、現在全国16カ所において、山だけでなく河畔林や海などにも活動の場を広げています。「森・里・川・海」のつながりを大切にし、地域の活性化につなげることで、新しい価値を生み出す森づくりを目指しています。

今回、大分セブンの森では、全国で初めて草原の保全活動を九重町で実施することになりました。

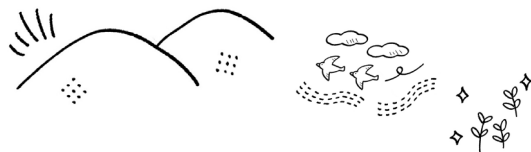
これまで飯田高原では、飯田高原野焼実行委員会により野焼きが行われていましたが、今後はさらなる連携により、草原の保全を中心とした支援活動が始まります。

▶九重ケーブルテレビで九重ふるさと自然学校の活動を紹介していますので、ぜひご覧ください。

📍 イベントの中止のお知らせ

●「第27回九重ふるさと祭り」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とさせていただきますことになりました。ご理解の程よろしくお願いたします。

※佐世保市と九重町姉妹都市提携30周年記念事業「九重の自然を描く絵画展・写真展」は、10月12日(火)～17日(日)に九重文化センター体育館において開催いたします。



写真説明 (左から)

- ・タデ原湿原の野焼きでの火入れ風景
- ・草原の春は野焼きから始まり、一面が真っ黒な大地になります
- ・野焼きの際、火を消すために使用する「はたき棒」を手にする広瀬知事



Instagramでも情報発信しています。皆さんフォローしてくださいね



◀登録はこちらから  
(アカウント名: 大分県九重町観光情報 kokonoetourism)

2年間ありがとうございました！

これから1年間、私たちが活動していきます！



あいり 時松愛里さん



しもむら かほ 霜村香帆さん



あやか 佐藤彩花さん



みおり 白地澗莉さん

町民の皆様、2年間大変お話しになりました。コロナ禍の中でしたが様々な活動の機会も頂き、貴重な経験となりました。活動の中で生まれ育った九町をさらに知ることができことや、町民の皆様のあたたかさに触れることができ感でいっぱいです。この経験一生の財産です。これから変わらずふる里を愛しています。本当にありがとうございました。

昨年はイベントなどが中止になったりと外に向けた発信が難しい状況でした。しかし、コロナ禍で各施設がお客様に合わせたニーズで対応し、手を取り協力し合う姿に感銘を受け、私もSNSなどできることで最善を尽くそうと努めました。今年こそはもっと沢山の方と九重の魅力を発信していけたらと思います。残り一年、引き続きよろしくお願致します。

九重キャンペーンレディの佐藤彩花と申します。生まれも育ちも九重町である父親の影響で、私も幼い頃からよく九重町へ訪れては魅力に触れてきました。いつか九重町に恩返しをしたい！と思って応募させていただきました。もっともっと九重町の知られざる魅力を発掘し、九重町の広告塔として全力で発信していきます。

九重キャンペーンレディの白地澗莉と申します。九重町で生まれ育ち恩師から、キャンペーンレディに応募してみたら？と声をかけていただき、私自身も自分の住む町の魅力を発信するお手伝いをしたいと思い今回応募させていただきました。緊張と不安がありますが、楽しみながら九重町をPRし、盛り上げていきたいと思っておりますのでよろしくお願致します。